



地域おこし協力隊 活動状況報告



こんにちは！林業担い手担当の埴田（たおだ）ななみです。関西からきて初めての北海道の夏を迎えました。予想以上の暑さと、同時に急に訪れる涼しさの両方に驚きつつ、日々を過ごしています。

私は、大学院まで建築設計を学んでいて、木素材や地域でのものづくりに興味があり、林業担い手として浦幌で働くことになりました。浦幌町に来てからは、浦幌町森林組合に所属しつつ、林業の現場と、ものづくりの現場での研修をしながら、山のこと、木材のこと、デザインのことを学んでいます。今回の報告の中では、印象的だった研修先での活動についてお伝えしようと思います。

5月、6月にかけては浦幌町森林組合と北村林業さんでの研修を行い、山に関わる仕事がどのようなものかを組合と事業者という2つの異なる視点で見てきました。森林組合では、苗木の調査や来年度以降の事業場所の下見などに同行し、山がどのように管理や整備されているのかを知りました。北村林業さんでは、実際に植林を行い、山での労働というものを体験することができ、実際に汗をかくことで、山仕事の過酷さと山で働く人の偉大さを身をもって知ること

ことができました。

また、山で働く同年代との交流もあり、山の仕事を自分ごととして認識することにつながりました。2つの研修を経て、自分の山の捉え方の解像度がより高くなり、山や森をただの景色としてではなく、多くの人や命を支える場として捉えるようになりました。



その後、7月、8月には、BA

TONPLUSさんと道東ラーチさんでの研修を行い、ものづくりに取り組みました。地域材のカラマツを用い、オフィスのパーテーションを全自動CNCルーター（shopbot）で制作したり、道東ラーチさんの手作業での加工技術を活かして、室内建具を提案、制作することを行いました。地域材を活用して、デザイン提案し、制作をする一連の流れは、実際に山での研修を経たあとだからこそ、デザインを考える視点や捉



え方が深まった部分が多くありました。また、実際に手を動かすことで、カラマツの性質を学ぶことができ、木材についての興味がより出てきました。

まだまだ、木材に関する知識、制作経験や技術などは足りない部分が多く、自分のしたいことできないことの乖離がありますが、これからも山や森林のことを学びつつ、その学びが、ものづくりに活かされていくように気をつけながら、制作に取り組んでいけたらと思っています。また、さまざまなかた方と交流、相談しながら、「どのようなものづくりが浦幌町だからこそできるのか」を考え続けていきたいと思っています。

● 地域おこし協力隊 埴田 ななみ（たおだ ななみ） 林業担い手担当

引越してきて、ようやく生活が整いつつありますが、テレビはなく、ラジオと新聞で情報を得る生活をしています。朝起きたら、ラジオをつけ、ニュースを聞き、仕事終わりに図書館に寄り新聞を読むというアナログな毎日を送っています。夕方、図書館で新聞を読んでいる人がいたら、それが私です…



● 地域おこし協力隊の活動を紹介する隊員紹介 Facebook ページ

☆北海道浦幌町地域おこし協力隊 ⇒ <https://www.facebook.com/urahoro.chiikiokoshi>